

よこはま型
若者自立塾

若者自立就労支援 × 石巻進化躍進支援

やっぺす通信発行元

K2 インターナショナルグループ
・NPO 法人ヒューマンフェロシッパ
・うんめえもん市

www.k2-inter.com/ishinomaki
Tel : 045-762-1435 (覚知・田上)

忘れないこと・続けること・進化すること

やっぺす通信

Vol.41

2015.4.1 発行

石巻復興支援 から 石巻進化躍進支援へ

うんめえもん応援団 若者自立就労支援 × 石巻進化躍進支援 応援ファイル No.24

～石巻に行って思い出したこと～

横浜市立 横浜総合高等学校
副校長 小市 聡

都会にはあらゆるものがそろっているように思えますが、ふと気がつくとなくなっていくものもたくさんあります。横浜総合高校では昨夏、横浜では体験できない職業の体験をして、将来の糧にすることを目的とした「東北インターンシップ」を実施しました。宮城県石巻市渡波地区にて名産であるカキの養殖、出荷作業の体験、流された村を観光で復興させるプロジェクトへの参加、復興住宅での福祉体験などをおこないました。プロデュースしてくれたのが K2 並びに K2 石巻ゲストハウスです。現地での宿泊から食事、職場紹介のほかに東日本大震災の被災現場の見学や当時の状況をお話いただきました。現地での作業はカキの養殖棚作りや、カキに付いた海藻などのゴミ落としなど単調な作業が多く、生徒は飽きてしまうかと思いました。しかし一日の労働を終えて帰ってきた生徒の反応は反対でした。ホタテ貝の中心に穴をあけて棚を作る作業では中心に上手に穴をあけられるようになった時、カキの殻に付いたゴミを早く上手に落とし、出荷できる商品に仕上げた時の喜びを感じたようです。また、村の復興では旅館の布団干し、清掃などを作業しながら村を作ろうという若者達の意欲に感化されたりしていました。横浜にない職業を体験することは、新しい自分を発見することにつながっています。後日のアンケートでは全員が東北での就職を前向きに考える結果が出ました。うち一名が仙台への就職を試みました。実現はしませんでした。将来はない話ではないと思います。石巻の K2 で自立をめざす皆さんも横浜総合高校の生徒に仕事の手順を教えたり、アドバイスを加えたりなど立派な先輩として、また職場では上司の右腕のように働く姿を見せていました。横浜ではできない環境の中で横浜総合の生徒も K2 の皆さんも生き生きとしていたと思います。また、泊地の渡波地区では地域の方々の温かい歓迎を受けました。生徒二人が近隣のお宅に宿泊させていただきました。生徒たちは地域を通じて、昔、横浜にもあった近所力に支えられ、精神的にも成長できました。渡波地区とはこれからも「うんめえもん市」を通じてこの縁を続けていきたいと思っています。職場環境、生活環境により生徒の視野が広がり、同時に可能性も広がります。価値観の多様化に伴い、若者の様々な社会への登場の仕方が出てきました。現在の家庭、学校、地域では整わない環境が K2、石巻の皆様、そして「うんめえもん市」のつながりの中にありました。都会では薄れつつある次の若者を育てる環境を石巻に行ったことにより思い出しました。K2、石巻の皆様、そして「うんめえもん市」への「支縁」「躍進」をこれからも応援していきたいと思っています。



石巻現地の声

特定非営利活動法人 TEDIC 代表理事 門馬 優

「語弊があるかもしれないけれど、震災がきて救われたって思うんだよ。」この言葉に出会ってから、もうすぐ4年になる。避難所で出会った当時、中学校3年生だった彼は、今では高校3年生の年齢になる。現在では会うことも少なくなったが、何とか頑張って学校に通っているようだ。

初めてこの言葉に出会ったときの衝撃が忘れられず、これが私たちNPO法人TEDICの原点となっている。家も流され、大切なものも流され、親戚も亡くし、命からがら避難所に逃げてきた彼が語ったこの言葉の意味はとても重い。実は、彼は中学校入学後に先輩のいじめにあって、まさに震災が起きた当日まで2年近く不登校状態にあった。また家族も大変な状況にあり、震災直前には父親がリストラに遭い、家庭は崩壊、姉は家を出して帰ってこない、そんな家庭だったという。津波から逃げるようにして駆け込んだ避難所、そこで出会ったのが「ボランティア」だった。震災から日数が経ち、学校が再開した際、周りの子どもたちが登校していくにも関わらず、なお避難所に居続ける彼のことを心配したボランティアが声をかけてくれたのだった。彼は、自分がずっと不登校であること、そして何より家族が大変な状況にあることを打ち明けた。ボランティアは、ただただ「うん、うん。」とうなずいてそばにいてくれた。震災前はずっと家に閉じこもり、家族以外の誰とも言葉を交わさず、心に様々な憤り、不安、思いをひめていた彼が、はじめてありのままを受け止めてもらった瞬間だった。「家も、大切なものも、思い出も流されてしまったけど、でも、やっと人と繋がるのが出来て、自分のことを受け止めてくれる人に出会えて、だから自分は幸せだ」と彼は話してくれた。私たちの法人には、様々な背景を抱えた子どもたちがやってくる。震災で家を失った小4生、両親を亡くした小3生、親が失業して経済的に困窮した中1生、いじめにあって不登校になった中3生、生活保護を頼りに何とか生きている高校生、親が帰ってこずに兄妹だけで生活している小学生など、「生きていてくれて、本当にありがとう。」と伝えたい、そんな今を生きている子どもたちも少なくない。東日本大震災の影響もあり、宮城県は2年連続で不登校出現率が全国ワーストを記録した。(中学校、文部科学省「学校基本調査」2013、2014) また、沿岸部では、震災直後から続いた人口減少に反比例するように、この1年半で生活保護を受給する世帯が増えてきている。子どもたちを支えるはずの家庭の基盤が大きく揺らいでいる。しかし、それは何も震災によるのみ引き起こされたものではない。いま、石巻だけでなく、この日本社会のどこかで「声をあげられずにいる」子どもたちが、きつという。必死に生きている彼らに、私たちが出来ることはただひたすら寄り添い、一緒に悩み、考え、そっと背中を押し、それがうまくいこうといかまいと、また笑顔で受け止める、ただそれだけである。



○門馬 優さんご紹介

TEDICは、地元・石巻市出身の門馬さんが2011年5月に、避難所で出会った当時中学3年生の男の子との出会いをきっかけに設立されました。学習サポート事業、サードプレイス事業、不登校サポート事業の3本柱で活動されていて、石巻市で支援活動をしている団体等を対象としたミーティングやイベントで出会い、交流の機会をいただいています。

うんめえもんスタッフ紹介コーナー

うんめえもん市スタッフを紹介していきます。
今回は、スタッフの渥美 形彦さんにインタビューしました。

- ① K2に来たきっかけは？**
自信の無さから、何事も長続きせずに引きこもり生活
そんな自分を変えたくてK2に助けを求めました。
- ② 石巻に行って感じたことは？**
震災直後の4月に先発隊として行かせていただきました。
現場で感じた想像を超える破壊力、におい。何か出来ることがあると
思っていた自分に突きつけられた、現実。何も出来ない無力感を感じました。
- ③ うんめえもんスタッフ（K2スタッフ）になって変わったことは？**
人と話す楽しさ！一緒に働ける仲間を得られたこと！
- ④ うんめえもん市おすすめ商品は？**
金華鯖のシャキシャキおかかごはん。3分の2はそのまま食べて、
3分の1はお茶漬けに！！ちょっと昆布茶を入れるとなお美味です。お試しを！！



うんめえもんの頼れる
お兄ちゃん的存在。
年下のメンバーからも
とても慕われています!!



プロフィール

名前 渥美 形彦
年齢 33歳
出身 神奈川県川崎市
趣味 野球観戦
特技 出汁巻き作り

石巻 復興 支援 から 石巻 進化躍進 支援 へ

東日本大震災4周年記念イベント開催

2015年3月7日～10日まで、東日本大震災4周年記念イベントを行いました。

この活動のきっかけは、2011年3月11日、東日本大震災で、元スタッフの亀山ゆり子が被災したことで、彼女を通して石巻復興支援として翌4月から現地での活動を始めました。

その後、8月に玉井海産物店の玉井通さんに出会い、11月より石巻復興支援バザール「うんめえもん市」がスタートしました。2012年8月には、NPO法人ヒューマンフェローシップの1事業「うんめえもん市」部門を法人化し、「株式会社うんめえもん市」を設立しました。現在3名のスタッフを常勤雇用し、その他にも多くの生きづらさを抱えた若者達が就労訓練の場として活動しています。

3月7日はK2ビルとさかえ girls day 2015 にて、8日は保土ヶ谷絆バザールにて、9日は横浜市役所にて、10日は西区役所と、助けあいジャパンイベントにて出店し、焼き牡蠣、焼き帆立、お弁当や物産の販売を行いました。7日には、NHKの取材などもあり、たくさんの方にご来場頂きました。

今後も私達は、この未曾有の大震災を忘れず、私たちの教訓とすること、また「支縁」によって地域との関係を継続していくこと、必要に応じて形を変えつつも、一人でも多くの人の応援と協力をお願いしていきたいと思っております。また、この4月より、石巻現地の方のお気持ちに沿って、「石巻復興支援」から「石巻進化躍進支援」へと生まれ変わります。どうぞ今後ともよろしくをお願いします。



3/7 K2ビルにて



3/8 保土ヶ谷絆バザール



3/7 石巻から来たメンバーの方と今後の検討会

うんめえもん市 今月のオススメレシピ

今回はうんめえもん市でも、一押し商品「すき昆布」を使った
「すき昆布と長大豆もやしの煮物」のレシピをご紹介します。

〇作り方

- 1) すき昆布を水で15分もどし、5cmに切る。
- 2) 人参、高野豆腐、油揚げを千切りにし、長大豆もやしを3cmに切る。
- 3) 鍋に油を入れ、千切りにした人参、すき昆布を炒める。
- 4) 3)にだし汁を入れ7～8分煮る。
- 5) 4)にカットした高野豆腐、油揚げ、長大豆もやしを入れ、みりん・しょう油を加えて5分ほど煮る。味がしきたら完成。



すき昆布と長大豆もやしの煮物

(材料)

すき昆布 1袋の半分、にんじん小1本、高野豆腐 2枚、油揚げ 4分の1枚、
長大豆もやし(豆もやし) 1袋、だし汁 200cc、みりん 大3、しょう油 大3、油 大2

4月・5月 うんめえもん市の開催スケジュール

◆ 4月の開催予定日

5日(日) 小机城址まつり	11:00～15:00
7日(火) 南区役所	10:00～14:00
9日(木) 都筑区役所	10:00～16:00
14日(火) 中区役所	10:00～14:00
16日(木) 保土ヶ谷区役所(初回)	10:00～14:00
20日(月) 横浜市役所	10:00～14:00
22日(水) 磯子区役所	10:00～16:00
24日(金) 瀬谷区役所	10:00～14:00
27日(月) 鶴見区役所	10:00～15:00
28日(火) 神奈川区役所	10:00～14:00

◆ 5月の開催予定日

1日(金) 旭区役所	10:00～14:00
7日(木) 都筑区役所	10:00～16:00
11日(月) 瀬谷区役所(物産のみ)	10:00～14:00
12日(火) 保土ヶ谷区役所	10:00～14:00
14日(木) 神奈川区役所	10:00～14:00
16日(土) ほどがや花フェスタ	11:00～14:00
18日(月) 横浜市役所	10:00～14:00
20日(水) 磯子区役所	10:00～16:00
25日(月) 鶴見区役所(物産のみ)	10:00～15:00
26日(火) 中区役所	10:00～14:00
29日(金) 栄区役所	10:00～14:00



販売責任者
ちあっきー

※予定は変更される事があります。詳しくは事務局までお問い合わせ下さい。